

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390300065
事業所名	グループホームかくれんぼ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ感染症の5類移行に伴い、月に1回、地域を対象とした「かくれんぼマルシェ」が再開されている。 焼きそばやみたらし団子、野菜等の販売に加え、他法人の子ども食堂も開かれ、多い時には30名以上の来場者がある。 恒例となった神社の掃除には、職員だけでなく利用者也参加している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	2ヶ月ごとに運営推進会議を開催しているが、6月以降は全て対面形式で行われており、同法人の小規模多機能事業所等との共催である。 いきいき支援センター(地域包括支援センター)職員、区長、民生委員、家族等が集まり、ホームからの報告に続き、参加者の意見交換を行っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	いきいき支援センター職員が運営推進会議に出席しており、ホームの状況は行政に伝わっている。 市や区から研修案内が届き、職員が集合研修に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族面会も、ほぼコロナ禍前の状態に戻っており、30分の時間制限を設けているものの、居室での面会を認めている。 毎月発行している「お便り」は、利用者の写真を多用してホームでの様子を伝えている。 担当職員が「お便り」にコメントを記載しており、家族の好評を博している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

2ヶ月ごとに運営推進会議を開催しているが、コロナ感染症の5類移行に伴い、6月以降は全て対面形式で行われている。
---

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	○	◎							